

■阿賀野市の学校教育の重点

ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく
人を育てる教育

【自立】

課題を見付け、主体的に判断し、粘り強く取り組む力

【協働】

多様な人々と対話し、問題を解決する力

【創造】

既有的知識を駆使し、新しい価値を生み出す力

【教育目標】

ともに支え ともに生きる ～仲間とともに 地域とともに～

【育てたい5つの力・5つの心】

自分で考える力

主体的に判断し、行動する力

自分の考えを相手に伝える力

仲間の良さを生かし協働する力

限界に挑戦する力

思いやりの心

感謝の心

認め合う心

素直な心

奉仕の心

■新潟県 学校教育の重点

ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を創ることができる人

【児童生徒が主役の授業をととした確かな学力の育成】

【いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成】

○他とかかわり合いながら主体的に学ぶ生徒

知

成果 ●CRT で平均正答率の割合を 95%以上にする
●生徒アンケートで「交流の学びを通して、自分の考えをより深めることができた」と答える生徒が 90%以上

取組

<重点事項>

- ①「わかる」→「できる・できた」が実感できる授業づくり
- ②交流の学びを通して考えを広げ、深める授業づくり
- ③生活のリズムを整える中での家庭学習の習慣化

<実践事項>

- ①単元のゴールを明確にした授業設計
- ②生徒の問題意識を喚起する学習課題の設定
- ③考えを共有（広げ、深める）できる交流場面の設定
- ④ICT の効果的な活用
- ⑤3点固定（「起床時刻、家庭学習開始時刻、就寝時刻」の記録を通した自己マネジメント力の育成

○人を応援することができる生徒 人から応援される生徒

徳

成果 ●「学校生活が充実し楽しい」と答える生徒が 90%以上
●「互いに支え合ったり、励まし合ったりすることができた」と答える生徒が 90%以上

取組

<重点事項>

- ①良好な人間関係づくり
- ②自己肯定感、自尊感情を高める手立ての工夫
- ③支え合い、励まし合う機会の設定
- ④社会性、規範意識の醸成

<実践事項>

- ①SGE や SST などを実践的に実施し、振り返りを着実に生かす
- ②各活動において、支え合ったり、励まし合ったりした経験を書く等、振り返る場を設定する
- ③教育活動の中で、生徒が支え合ったり、励まし合ったりした場面を教師が積極的に取り上げる

○心身の健康の保持増進に努めるとともに自己管理ができる生徒

体

成果 ●体力テストの総合得点で C 段階以上の生徒が全体の 60%以上
●メディアコントロール week において自己目標を 5 日間で 4 日間達成できたと答える生徒が 50%以上

取組

<重点事項>

- ①保健体育の授業を通して、運動の大切さと基礎トレーニングの大切さを教える
- ②保護者の協力を得ながらメディアコントロールの大切さを教える

<実践事項>

- ①授業開始時に準備運動と基礎体力トレーニングを取り入れ、体力の向上を図る
- ②家庭のメディア利用ルールを作成し、振り返りを確認する
- ③SNS 教育プログラムを実施し、健康的な生活について考えさせる

より良い人間関係を構築する人権教育・同和教育の充実

信頼される学校づくりに向けて（家庭・地域と連携した教育の推進 小中連携の推進）

家庭・地域との連携

- 学校 HP、各種たより等を通して、積極的に学校の様子を伝え、教育活動への理解に努める。
- 総合的な学習を通して、地域を知り地域を誇りに思う生徒を育成する。
- 職場体験学習を通して、地域で働く意義を学ぶ。

地域とともに生きる教育活動の推進

- 「地域との連携を推進する会」「KCA」を軸に、学校を開き、地域の声を聞き、地域とともに生きる学校づくりを推進する。
- 「地域とともに生きる」を様々な教育活動に位置付け、地域の中での体験活動を実施する。

小中連携教育

- 児童生徒に関するきめ細かな情報交換を行い、育てたい子どもの姿を共有する。
- 小中合同で9年間を見通した共通指導事項を設定し、子どもたちの教育活動の連続性を高める。

目指す職員集団

- 目的意識と同僚性を大切にし、「チーム京中」となって教育活動に当たる職員集団。
- 生徒の将来を第一に据えた教育活動を進める職員集団。
- 保護者・地域から信頼され「地域とともに生きる」活動を進める職員集団。